

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	DPC演習	
科目基礎情報					
開設学科	医療事務科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	45時間
単位数	3単位			授業形態	講義
教科書/教材	DPC早見表/医学通信社				
担当教員情報					
担当教員	高橋 静江		実務経験の有無・職種	有・医療事務、診療情報管理士	
学習目的					
DPC制度は、急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度です。DPC（Diagnosis Procedure Combination）とは、医療の質的改善を目的として開発された日本独自の診断群分類であり、DPC制度では、これまでの診療行為ごとに医療費を計算する出来高払い方式とは異なり、傷病名や治療内容をもとに、診断群分類に基づく1日あたりの定額点数からなる医療費の包括支払い方式「DPC/PDPS（Diagnosis Procedure Combination /Per- Diem Payment System）」が導入されました。制度導入後、DPC対象病院は段階的に拡大され、「DPC/PDPS」の対象となる病床の割合は、急性期一般入院基本料等に該当する病床の約8割を占めています。DPC制度の概要と診療					
到達目標					
DPC制度の概要を理解し、診断群分類に基づく1日あたりの包括支払い方式（DPC/PDPS）のしくみ、『ツリー図』・『定義テーブル』による診断群分類番号の構成、診断群分類点数表による診療報酬額の請求方法及びDPCレセプト（診療報酬明細書）の記載要領を理解する。					
教育方法等					
授業概要	DPC制度導入の経緯、包括評価の基本原則、包括範囲と出来高評価の区別について解説し、様々な症例をもとに、演習形式を取り入れて診療報酬額の算定方法とレセプト請求について理解を深める。				
注意点	毎授業、演習課題又は小テストを実施する。授業の後半ではパソコンを使用した演習を行う。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート				
	成果発表 （口頭・実技）				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	DPC制度の概要		DPC制度導入の経緯、対象病院・病棟、対象患者を区別できる		
2回	DPC点数表の読解		対象疾患・診断群分類樹形図・診断群分類点数表等の見方を理解できる		
3回	傷病名の決定		主要診断群、疾患コードを理解できる		
4回	診断群分類番号の構成		診断群分類番号の構成を理解できる		
5回	診断群分類区分		ツリー図と定義テーブルとの関係を理解できる		
6回	診断群分類区分の決定		診断群分類区分を決定できる		
7回	診療報酬額の算定方法		入院期間に応じた点数設定を理解できる		
8回	診療報酬額の算定		医療機関別係数について理解できる		
9回	包括評価部分の算定		包括評価部分において「所定点数に」に包括される項目を理解できる		
10回	出来高部分の算定		出来高部分において算定できる項目を区別できる		
11回	DPCレセプトの記載要領		DPCレセプト記載要領の一般的事項を理解できる		
12回	DPCレセプト作成 演習（1）		DPCレセプトの包括評価部分及び出来高部分の記載要領を理解できる		
13回	DPCレセプト作成 演習（2）		DPCレセプトの各欄の記載要領を理解できる		
14回	DPCレセプト作成 演習（3）		コーディングデータの内容及びデータ提出方法について理解できる		
15回	DPCレセプト作成 演習（4）		事例をもとに、診療報酬額の請求における留意点を理解できる		